

白鷗大学 経営学部 青崎ゼミナール GACHA 班

大学コンソーシアムとちぎ主催「第21回 学生&企業研究発表会」

で栃木県産業振興センター理事長賞を受賞

■研究タイトル

「カプセルトイを用いたオーバーツーリズム対策の可能性～人と地域をつなぐ
SERENDIPITY～」

■受賞

栃木県産業振興センター理事長賞

■施策概要

栃木県日光市で深刻な問題となっているオーバーツーリズムの中でも特に問題となっている「自動車で訪れる国内観光客による交通渋滞」に焦点を当てた。それに対し、ランダムな出会いを創出し、ワクワク感を与えながら幅広い世代にアプローチできるカプセルトイを掛け合わせ、新たな行動変容を生み出すことで、交通渋滞の緩和を図るというもの。

05 切り口

交通渋滞

カプセルトイ

04 取り入れる要素

QRコード決済

ランダムな行き先

コスト削減

ビビットガチャ®

金銭
回収不要

ワクワク感

旅くじ®

予想外の
出会い

日本ガチャガチャ協会/Peach Aviation株式会社 ヒアリングより

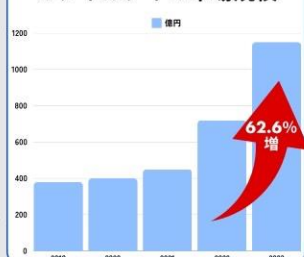
栃木県の現状 日光市の現状 解決するには カプセルトイの 勢い プロジェクトの 詳細 考察 今後の展望

04 市場規模

●カプセルトイの市場規模は
ここ5年で**上昇傾向**

●2022年から2023年では
62.6% 市場規模を拡大

ガチャガチャの市場規模



日本ガチャガチャ協会ヒアリング・日本カプセルトイ協会より

栃木県の現状 日光市の現状 解決するには カプセルトイの 勢い プロジェクトの 詳細 考察 今後の展望

06 考察



他地域ではどう活用する？



3つを変更すれば可能

景品

設定地域

ストーリー

栃木県の現状 日光市の現状 解決するには カプセルトイの 勢い プロジェクトの 詳細 考察 今後の展望

■ご協力いただいたヒアリング先企業一覧

	企業名	部署名
1	株式会社 電通	
2	株式会社 テレビ東京	
3	経済産業省	
4	株式会社 SEGA XD	
5	Peach Aviation 株式会社	
6	栃木県庁	観光交流課
7	日光市観光協会	事業課
8	日光市役所	観光経済部
9	栃木市役所	地域振興部
10	那須塩原市観光局	
11	那須塩原市役所	
12	佐野市役所	
13	足利市役所	

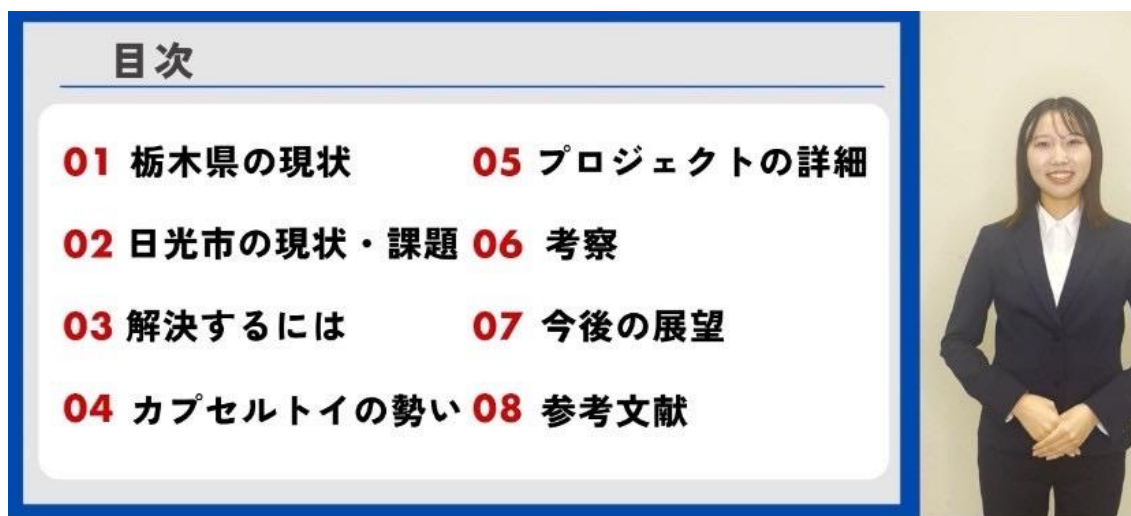
■メンバーコメント

川松 未愛(かわまつ みなり)

今回このような賞をいただけたことを、大変嬉しく思います。この研究を通じて最も苦労したのは、具体的なアイデアを確立する過程でした。施策を検討する中で、「これを実施すれば効果が期待できる一方で、新たな課題も生じる」といった多角的な視点で問題を捉え、最適な解決策を見いだす難しさを痛感しました。しかし、チームの仲間と協力し、何度も議論や試行錯誤を重ねることで、数々の壁を乗り越えることができました。結果として、このような名誉ある賞をいただけたことを大変光栄に思います。

特に私は、ゼミ活動における研究発表やヒアリング取材の際に、積極的にアポイントメントを取る役割を担いました。この経験を通じて、プレゼンテーション力やビジネスマナーを大きく向上させることができたと感じています。また、活動全体を通じて論理的思考力や協調性も培うことができました。この貴重な学びを、今後の活動に生かし、さらに成長していきたいと考えています。

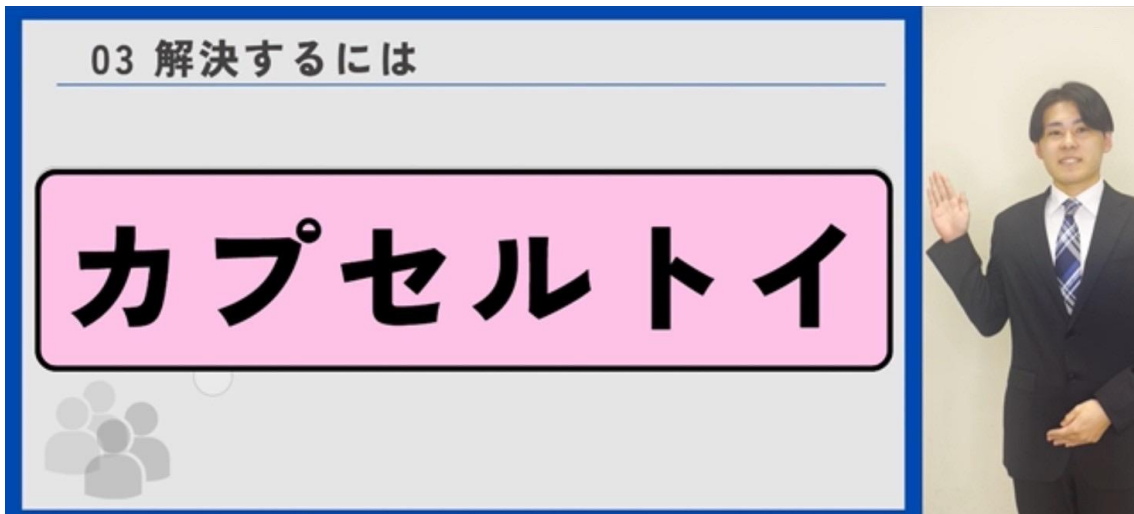
最後に、私たちの研究にご支援・ご協力を賜りました皆様に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



予選で提出した発表動画 川松さん

佐藤 翔空(さとう とあ)

私はこの研究において、私は主に情報収集・分析と PowerPoint の編集・操作を担当しました。インターネット上に情報が溢れる現代において、正確で信頼できるデータを見極めることは非常に重要です。特に、研究に使用するデータに誤りがあってはなりません。そのため、大学の図書館で信頼性の高い文献を調査し、必要に応じてデータ提供元の企業に直接メールで確認を行うなど、徹底した情報精査を心掛けました。また、PowerPoint の作成においては、スライドのレイアウトや構成を工夫し、発表内容をいかに分かりやすく伝えるかを追求しました。特に、チームメンバーが発表しやすいスライド設計を意識し、視覚的なわかりやすさにも注力しました。チームでは役割分担を明確にしつつ、互いの得意分野を活かして取り組む体制を整えていました。一方で、私は得意分野を深めるだけでなく、苦手分野にも挑戦しました。具体的には、情報収集や PowerPoint 作成といった強みをさらに磨きつつ、苦手だったアポ取りの電話やメール対応にも果敢に取り組み、実践を通じて成長することができました。こうしたチームの支え合いや挑戦の積み重ねが実を結び、最終的には大会で受賞するという成果を得ることができました。この経験を通じて得られた学びや成長を今後も活かし、自分自身をさらに高めていきたいと考えています。そして、この度私共の研究にご尽力いただきました皆様方、ご協力いただき誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

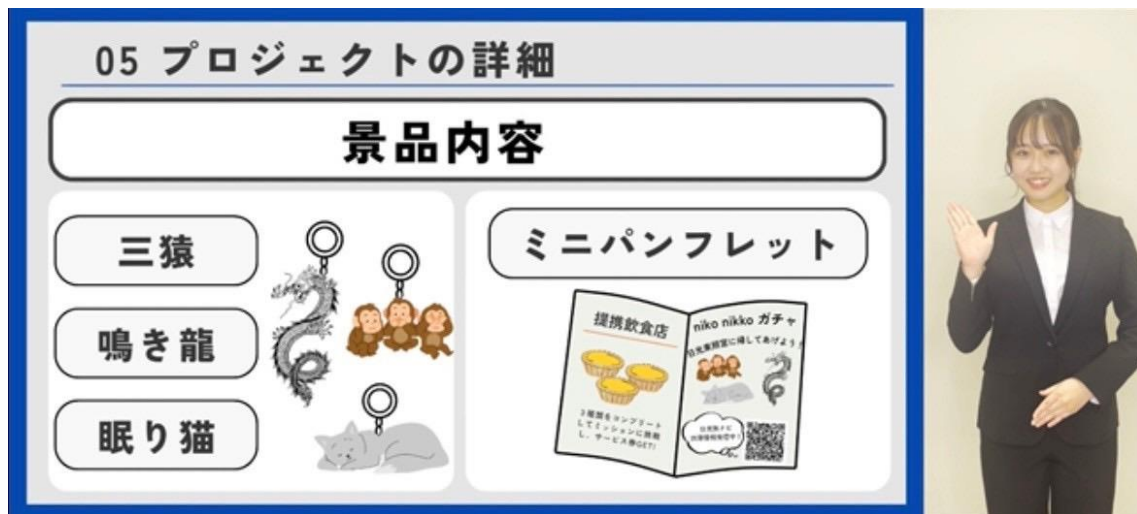


予選で提出した発表動画 佐藤さん

間彦 美羽(まひこ みう)

私は「個々の強みを活かしながら効率的に、しかし向上心を持ち続けて取り組むこと」を常に念頭に置いてグループ研究活動に取り組み、まとめ役を担いました。

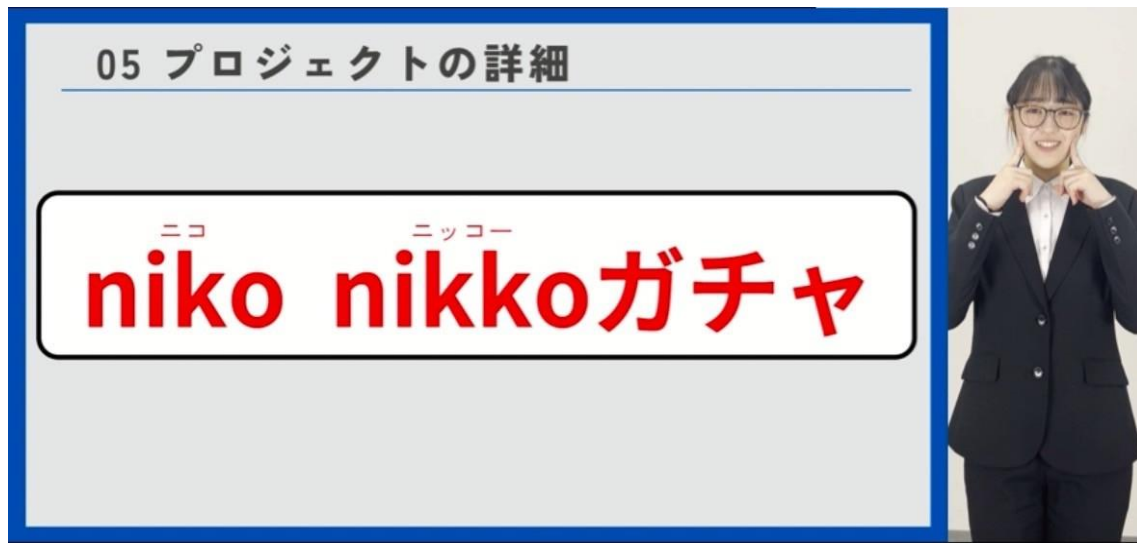
その中でも自分の強みである対話力を活かして、企業様へのアポ取りの電話やメール・ヒアリング等に率先して臨み、詳しいお話を伺えたことで、施策の軸の確立に繋がりました。また、動画の撮影時には観る人の視点に立って話し方や言葉遣い、表情等の表現方法を工夫しメンバー間で共有したことで、チーム全員が輝ける場を作り出すことができたと思います。一人ひとりの得意分野を活かし、分担して作業に取り組んだことで、チームだからこそ得られる達成感や、プレゼン大会における受賞、といった貴重な経験をすることができました。これらの、チームで協力し個々の強みが合わさるからこそ成し遂げられた経験を活かし、今後の成長に結びつけていきたいと考えます。最後になりますが、青崎先生をはじめ、お力添えをいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



予選で提出した発表動画 間彦さん

安田 瑞稀 (やすだ みずき)

私はこの研究を進めていくにあたり、特に情報収集に力を入れました。インターネット上で満足するのではなく、書籍、ニュースなどでも情報収集を行うことで、ヒアリングを行う際の会話のきっかけになることや、より具体的な施策の提案に繋がったと感じております。また、パワーポイント作成時には、どのような場面でどのような人に対してプレゼンテーションを行うのか、ということを意識し、より伝わるパワーポイントの作成に取り組みました。研究に取り組んだ結果、このような名誉ある賞をいただくことができ本当に嬉しく思います。長い間一緒に頑張って支えてくれたチームの仲間、常に寄り添い多くのアドバイスをくださった青崎先生や諸先輩方には心から感謝しております。誠にありがとうございました。このようにチームで協力し、お互いの個性を活かしながらひとつのものを創り上げる経験や、この活動で得た新しい自分の強みを活かし今後の成長に繋げていきます。



予選で提出した発表動画 安田さん



プレゼンテーション及び質疑応答場面



GACHA 班 集合写真